

学校経営全体計画

教育理念 積少為大

二宮 尊徳氏いわく、「大きなことをしようと思うならば、小さいことを怠けずに励まなければならない。小さいことの積み重ねこそが、大きなことを生み出すのだ。」

教育目標 一個がかがやき、みんながかがやく学校に—

目標設定の理由

一人一人の個が、「学校が好き」「学校が楽しい」「休まずに登校したい」という気持ちを持ち、その気持ちによって、学力向上・問題行動の減少・基本的生活習慣の定着・家庭学習の習慣化などの成果が見られると思われる。その成果により、保護者・地域の学校への信頼が高まる。その結果して、「京北第一小で学んでよかった」という成就感を味わい、中学に進学する。この学校としての教育実践を「かがやく」と考える。

「確かな学力」の育成に向けて **知 やる気 いっぱい**

かがやく子 「豊かな心」の育成に向けて **徳 やさしさ いっぱい**

「健やかな体」の育成に向けて **体 げん気 いっぱい**

目指す子ども像

知 「自ら学ぶ力」を高める

学力学習状況調査・ジョイントプログラムなどにおいて、全市平均を超える。
自分の思い・考えを場に応じて伝えることができる子。
家庭学習の計画を立て、それを実践する子。

徳 「自ら律する力」を高める

場に応じての行動がとれる子。
めりはりのある生活が出来る子。（無言清掃など）

体 「自ら健康・安全に努める力」を高める

戸外で体いっぱい使って活動する子。
運動する楽しさ・喜びを感じる子。